

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

学校名【愛知県立衣台高等学校】

1 実践テーマ	【 III、V 】
2 実施対象者	愛知県立衣台高等学校 第2学年6組 40名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（総合的な学習の時間） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	パラリンピック種目を題材の中心とし、東京オリンピック・パラリンピックへの関心を高めるとともに、インクルーシブな社会の創造を今後担うこととなる高校生として、その素養や資質を高める。
5 取組内容	講義（2年6組教室）14:30～ 本校教員 ・オリンピック・パラリンピックの歴史、意義について ・スポーツの魅力、意義について。パラリンピック種目（ボッチャ）について。 ・意識調査（事前アンケートの実施） ～講義の様子～ 

実技（本校体育館）

「ボッチャ」

講師：豊田市立豊田特別支援学校

酒井 哲哉 先生

矢部 和希 先生

(1) ボッチャというスポーツについて

(2) ルールについて

(3) ゲーム

～ボッチャ体験の様子～



まとめ1（体育館）

- ・応用的な技能の紹介
- ・ボッチャを通じて学んでほしいこと

まとめ2（事後アンケートの実施）

6 主な成果

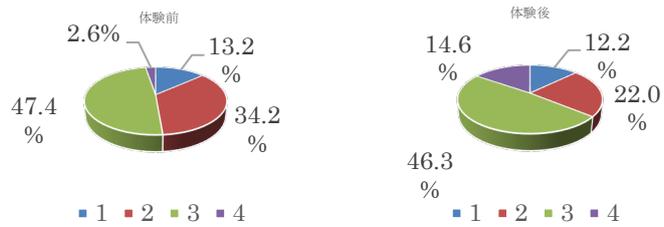
- ・講義後に行ったアンケート結果と、ボッチャ体験後に行ったアンケート結果を比較した結果が下記のグラフとなる。

なお、アンケートの回答は

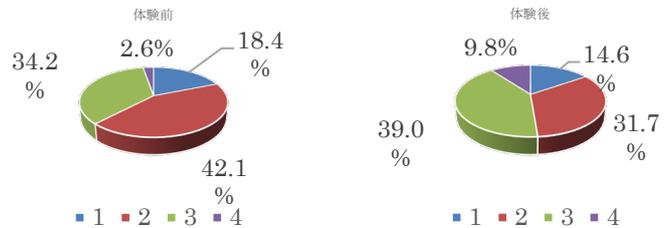
- 1 興味がない／参加したくない
- 2 あまり興味がない／あまり参加したくない
- 3 興味がある／参加したい
- 4 とても興味がある／ぜひ参加したい

と、なっている。

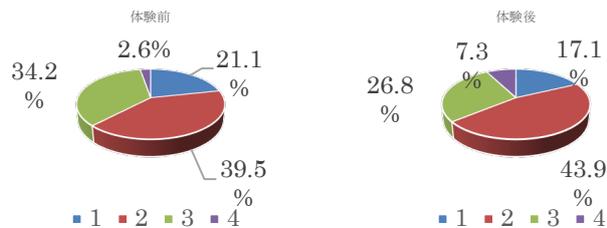
Q1：オリンピックに興味がありますか



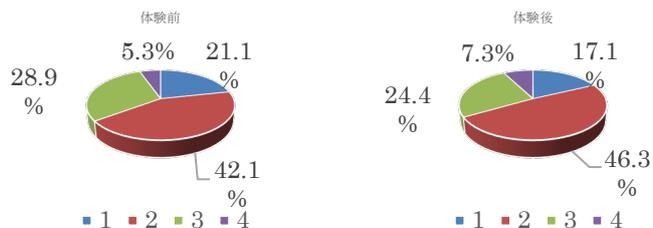
Q2：パラリンピックに興味がありますか



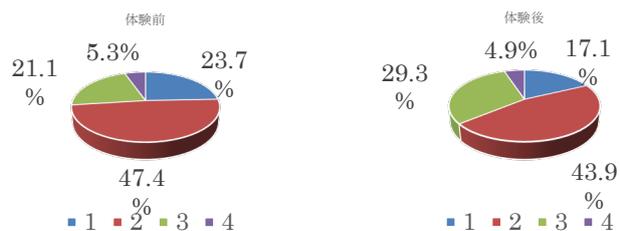
Q3：将来、オリンピックにボランティアや応援などで参加したいですか



Q4：将来、パラリンピックにボランティアや応援などで参加したいですか



Q5：これから行われる、オリンピック・パラリンピックイベントに参加したいと思いますか



	<p>～アンケート結果より～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果をみると、事業前は全体的にはオリンピックやパラリンピックに関心を持っている生徒は半数に満たない割合であり、関心の低さがうかがえた。特にパラリンピックにおいてはその傾向が強くみられた。しかし、ボッチャを実際に体験した後のアンケートではいずれの項目も興味を持っている生徒の割合が高まる結果となった。実際に体験することにより、身近に感じることができるようになったためと考えられる。 <p>～体験の様子より～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校生徒は運動を苦手とする生徒の割合が比較的高く、体育授業においても消極的な姿勢が常日頃みられるが、今回は積極的に参加する生徒の姿が多くみられた。特に女子生徒にはその傾向が強く、率先して取り組む姿が多くみられた。これは、ボッチャの特徴である、ルールが簡易であること、身体能力や運動能力に関わらず楽しむことができるスポーツであることがその要因であると考えられる。パラ競技の理解を深めるとともに、楽しんでスポーツに取り組む姿勢を身に着けるきっかけともなったようである。
7 実践において工夫した点（事業の特色）	<ul style="list-style-type: none"> ・コートを作るにあたり、極力労力をかけないようにするために、ほぼ同サイズのバドミントンコートを利用することとした。 ・チーム分けは事前に行い、当日生徒が戸惑うことが少なくなるようにした。また、教員チームを1チームづくり、自らも行いながら生徒のゲーム進行を手助けするようにした。併せて教員も競技の理解を深める機会となることを目的した。
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・今回使用した道具は、豊田市立豊田特別支援学校から借用したものであり、一定期間しか借りることができないため継続的に取り組んでいくことが難しい。1セット数万円と高価なため、購入することも現実的には不可能である。 ・今回は総合的な探究の時間で実施したが、来年度以降も継続的に行うことを考えると、実施時間を確保することは大変難しい問題である。今回は1クラスのみでの取り組みであったが、複数クラスで実施することを想定すると、実施場所の確保も課題となる。
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ・未定。ただ、今回の事業でご協力いただいた豊田市立豊田特別支援学校と交流を深める取組を行っていくことが理想であると考えている。